

「フィジカルインターネット実現会議」について（案）

令和 3 年 1 0 月
経 済 産 業 省
国 土 交 通 省**1. 趣旨****(1) 背景**

- 物流は社会経済を円滑に回す上で重要な社会インフラである。その一方で、電子商取引の増加や、人口減少に伴う労働力不足の深刻化等により物流における需要と供給のバランスが崩れつつある。この状況を放置すれば、物流機能の維持が困難となり、物流が企業、さらには経済全体の成長制約となる恐れがある。
- こうした事態を回避し、物流を産業競争力の源泉としていくためには、物流事業者のみならず、製造事業者や販売事業者が、物流を含めたサプライチェーンマネジメントや、企業・業界間での標準化・共同化等を行うことにより、オールジャパンで、物流の効率化を徹底していくことは、喫緊の課題である。
- また、物流リソースに関する情報を、各種インターフェースの標準化を通じて、企業・業界の垣根を越えて共有し、保管・輸送経路等の最適化などの物流効率化を図ろうとする考え方（フィジカルインターネット）が注目を集めている。我が国においても、大規模・長期・計画的にこうした最先端の技術や概念を取り入れた物流システムを構築していくことが望ましい。

(2) 会議の目的

- 本会議は、2040年を目標とした物流のあるべき将来像として、我が国における「フィジカルインターネット」の実現に向けたロードマップを策定することを目的とする。
- また、本会議に関連し、業界別のワーキンググループを必要に応じて組成し、2030年を目標とするアクションプランを作成する。

2. 会議の運営

- 本会議の事務は、関係部局等の協力を得て、経済産業省商務・サービスグループ物流企画室及び国土交通省総合政策局物流政策課が行う。
- 本会議は原則として公開で行う。また、事務局が議事要旨を作成し、委員の了解を得た上でこれを公開する。ただし、事務局が必要であると認める場合には、議事、議事要旨及び配付資料の全部又は一部を非公開とすることができる。
- 本会議の構成員は、資料3の通りとする。ただし、事務局が必要であると認めるときは、構成員を追加することや、その他の関係者の出席を求めることができる。

3. 今後のスケジュール

- 令和3年10月以降全5回程度開催し、年度内にとりまとめを行う。